

高浜市市制施行50周年記念事業

実施計画（案）



ちようどいいまち
ちよっといいまち
これまでもこれからも
2020高浜市50th

令和元年 12 月

高浜市

目 次

I 市制施行50周年記念事業の概要

1. 市制施行50周年記念事業の目指すもの	2
2. 基本的な考え方	2
3. キャッチコピー	2
4. コンセプト	3
5. 事業期間	3
6. 事業の構成	3
7. 実施体制	4

II 市制施行50周年記念事業実施計画

1. 記念式典	6
2. 記念事業	6
3. 広報・PR事業	14
4. その他関連事業	15

III 事業実施スケジュール

1. 事業実施スケジュール	17
---------------	----

I 市制施行50周年記念事業の概要



1. 50周年記念事業の目指すもの

本市は、1970年12月1日に碧海郡高浜町から高浜市となり、2020年12月1日に市制施行50周年を迎えます。

半世紀の時を経て、高浜市として次の50年を築き、100年を迎えていくための新たなスタートを切るため、これまでの50年間、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため、高浜市50周年記念事業を実施します。

2. 基本的な考え方

高浜市市制50周年という大きな節目の年を、第6次高浜市総合計画（2011年～2021年）に掲げている将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を達成するために、行政のみによる形式的な事業実施ではなく、市民の皆さんと行政が手と手を取り合い一緒になって企画・立案し、自ら実践することのできる事業を実施していくこととします。

3. 50周年のキャッチコピー

ちょうどいいまち
ちよっといいまち
これまでもこれからも

I 市制施行50周年記念事業の概要



4. 市制50周年記念事業のコンセプト



- 1) 市民とともに、高浜市の半世紀（50年）にわたる歴史、歩んできた道のりを振り返るものであること
- 2) 高浜市のこれから先の50年という未来を見通し希望が感じられるものであること
- 3) 市民があらためて高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着をさらに高めるきっかけとなるものであること
- 4) 高浜市の良さを市内外に向けて発信する機会であるため積極的に情報発信すること

5. 事業期間

- 1) 市制50周年記念事業期間 2020年4月～2021年3月
- 2) 市制50周年記念日 2020年12月1日

6. 事業構成

市制50周年事業の構成は、記念事業と記録・PR事業により構成するものとします。

1) 記念事業

毎年12月1日に実施している市民表彰式、市制50周年を記念した記念式典や市特別事業、また既存事業のうち市制50周年記念事業のコンセプトに合致する市冠事業を実施するものとします。

I 市制施行50周年記念事業の概要



加えて、市民や団体、地域、企業、学校等と高浜市が連携・協力して、市制50周年記念事業のコンセプトに合致する特別事業を実施するものとします。

2) 記録・PR事業

広報紙やインターネット、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の50周年を祝う機運を高めます。これら一連の活動は、シティセールスの一環となることを常に考慮して実施します。

7. 実施体制

市制50周年事業の実施については、庁内組織と市民組織の2つの組織により効果的に行います。

1) 庁内組織

①市制50周年事業プロジェクト

若手・中堅職員による研修として主事・主任級職員15名（令和元年8月1日時点）で組織し、市制50周年事業のキャッチコピーの策定や気運を助成するためのプレイベント等の企画・実施、市民会議50と連携した企画立案や計画策定・実施の調整を行います。

2) 市民組織『高浜市市民会議50 (fifty)』

市制50周年事業の計画策定や各種取組みを実行します。チーム編成については、次のとおりとします。

I 市制施行50周年記念事業の概要



①若者会議

これからの高浜50年を創っていく29歳までの男女11名（令和元年8月1日時点）で編成したチームです。

②女子ーズ

これからの高浜50年を創る子どもたちを育み・育てる30代及び40代を中心とした女性12名（令和元年8月1日時点）で編成したチームです。

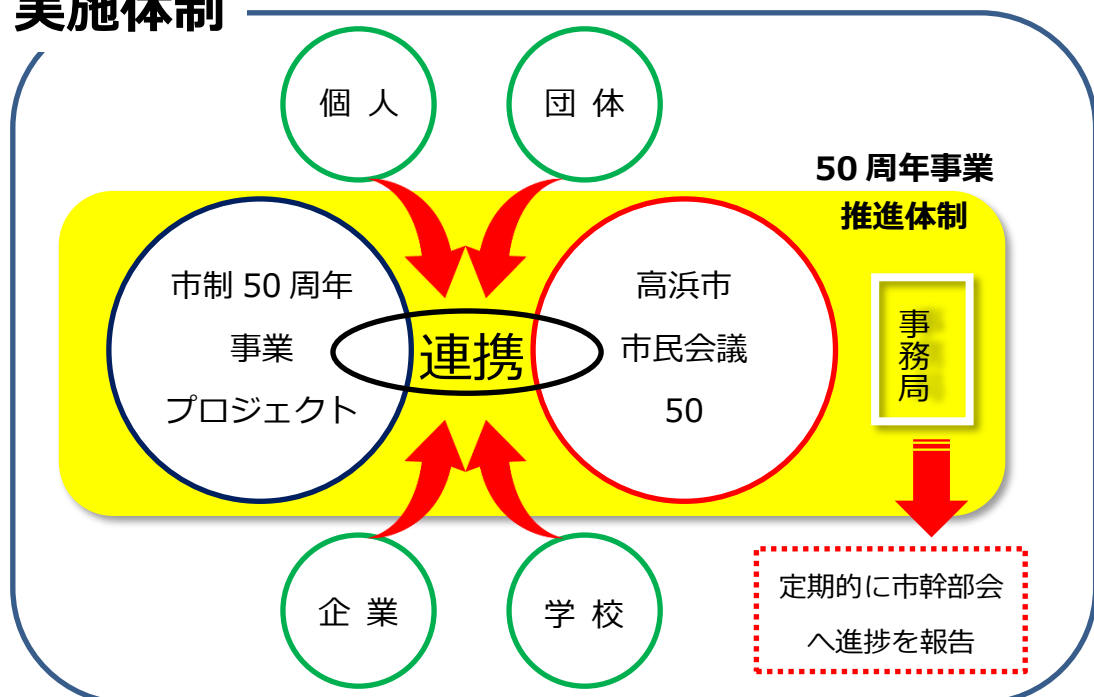
③大人チーム

これまでの高浜50年を創ってきた大人世代である40代以上の男女20名（令和元年8月1日時点）で編成したチームです。

3) 市制50周年事業事務局

企画部を事務局とします。

実施体制



II 市制施行50周年記念事業実施計画



1. 記念式典

- ◇時期 2020年12月1日(火) **歴史の
伝承** **未来へ
の希望** **故郷へ
の愛着** **魅力の
発信**
- ◇場所 調整中
- ◇内容 高浜市市民表彰式と連携した市制施行50周年を記念する式典
 - 市政に功労のある方々の顕彰・表彰
 - 50周年を祝うアトラクションなどを実施する。(詳細は未定)

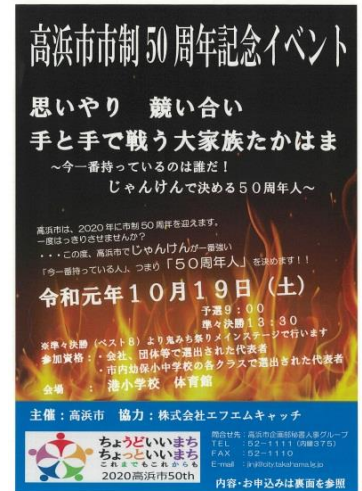
2. 記念事業

「プレイベント」

市制施行50周年の機運を高め、市民の皆様をはじめ市内外へ高浜市市制50周年(高浜市の魅力)を発信・PRするために市制施行50周年を迎える2020年に先立ち、2019年度中に実施する事業。

1) 思いやり 競い合い 手と手で戦う 大家族たかはま事業

- ◇時期 2019年10月19日(土)
- ◇場所 (決勝) 秋の鬼みちまつりステージ
(予選) 港小学校体育館
- ◇内容 市内で一番じゃんけんの強い「今一番持っている人」を決め、優勝者を「50周年人」として任命し市制50周年を盛り上げる大使とする。



2) ペットボトルアートで50周年シンボルマークをつくる事業

- ◇時期 2019年度
- ◇場所 調整中
- ◇内容 ペットボトルのキャップで市制50周年のシンボルマークを表現し、完成品を市内で展示する。



II 市制施行50周年記念事業実施計画



3) 50周年PRガチャガチャ事業

- ◇時 期 2019年度～2020年度
- ◇場 所 調整中
- ◇内 容 市制50周年グッズのガチャガチャを設置し、市制50周年を盛り上げる。

魅力の
発信



4) 50周年PR Tシャツの作成・PR

- ◇時 期 2019年度～2020年度
- ◇場 所 全市域
- ◇内 容 職員プロジェクトデザインのオリジナルTシャツの作成・着用。



魅力の
発信

《高浜市市民会議50企画事業》

市制50周年を盛り上げるため、市民によって結成された「高浜市市民会議50」で計画、実行する50周年記念事業。

1) 高浜市のテーマソングを作って、歌って、広めて、エンジョイ事業

- ◇時 期 2019年度より作成
- ◇場 所 ー
- ◇内 容 作詞や歌手の募集など市民を巻き込みながら高浜市のオリジナルテーマソングを作る。テーマソング用の振り付けも考え、市内のイベントや健康体操、さまざまな場面で活用してもらう。また振り付けを広めるためのテーマソング伝道師の募集や、テーマソングを踊った映像募集なども行う。

未来への希望 故郷への愛着 魅力の発信

II 市制施行50周年記念事業実施計画



2) 今度の舞台は高浜市！？おたかわら探して目指せタカハマスター事業

- ◇時 期 2019年度より作成
- ◇場 所 市内全域
- ◇内 容 高浜市の宝×瓦＝「おたかわら」。高浜市を舞台にした「おたかわら」を探す宝探しゲームを作る。ゲーム内のミッションには高浜市の魅力を発信するしかけを考え、参加者に楽しみながら高浜市の情報発信をしていただく。ミッションクリアした人には「タカハマスター」の称号を与える。

歴史の
伝承

故郷への
愛着

魅力の
発信

3) 地域・仕事・発見隊！わくわくワーク事業

- ◇時 期 2020年度中に2回
- ◇場 所 市役所会議棟やいきいきホールなど
- ◇内 容 市内の小学生、中学生に向けて職業ワークショップを開催する。高浜市を中心として瓦業者、スポーツ、公務員、飲食店等様々な職業の方を会場に集め、小中学生に仕事の紹介や体験を通じて、仕事に対する夢を与える。

歴史の
伝承

未来への
希望

4) 笑顔の写真展事業

- ◇時 期 2020年度
- ◇場 所 記念式典やその他市内の施設での展示
- ◇内 容 50周年記念に「笑顔の写真展」を実施！笑顔の写真を募集して、その写真を市内の施設、市公式フェイスブック等で紹介する。また表彰や50周年へのメッセージも募集する。表彰作品は12月1日の式典会場で表彰を行う。

未来への
希望

故郷への
愛着

魅力の
発信

II 市制施行50周年記念事業実施計画



5) 鬼みちまつりで50thオリジナルの灯り事業

- ◇時 期 2020年の秋の鬼みちまつり
- ◇場 所 鬼みちまつり会場
- ◇内 容 多くの人を訪れる「鬼みちまつり」で「鬼あかり」を使って50thを表現する。50周年をイメージしたイルミネーションや「鬼あかり」を設置。また紙テープによる「ナイアガラ」の演出、ステージの背景に市の50年間の写真アーカイブを映す。

歴史の
伝承

故郷への
愛着

魅力の
発信



6) みんなが目を輝かせる高浜オリジナル食べ物づくり事業

- ◇時 期 2020年度
- ◇場 所 市内
- ◇内 容 高浜市の「味」で50周年記念を演出するため、オリジナルの食べ物や市制50周年のシールを作成し、企業、店舗の協力を得て、「Made in TAKAHAMA」など特定の商品にシールを貼ることなどで市制50周年のアピールや地域貢献につなげる。

故郷への
愛着

魅力の
発信

《市民募集アイデア》

市制50周年を盛り上げるため、2018年12月20日頃から2019年1月31日までの間に募集した市制施行50周年を記念する事業アイデア。

1) "～ようこそ！碧海エリアで まずは50周年の高浜へ

～碧海エリアのPR動画やマップの作成。その中心を高浜が担う。"

- ◇内 容 碧海エリアPR動画・PRマップを作成したい。
- ◇進捗状況 調整中

魅力の
発信

II 市制施行50周年記念事業実施計画



2) 高浜市のシンボルマークの瓦製キーホルダー、コースター作成

◇内 容 全国シェアNo.1の三州瓦の生産を誇る高浜市ならではの記念グッズをつくりたい

◇進捗状況 三州瓦工業協同組合と調整を行った。引き続き調整中

魅力の
発信



3) インスタ映えする高浜の新名所づくり

◇内 容 瓦製品を使ったこれからもかわら（瓦）ぬ神社・鳥居などインスタ映えする観光名所をつくりたい

◇進捗状況 三州瓦工業協同組合と調整を行った。引き続き調整中

魅力の
発信



4) 高浜市内の移り変わりをわかりやすい形で紹介

◇内 容 「たかはまアーカイブス 高浜のあゆみ」パネル展示など、高浜市内の50年間の移り変わりを紹介したい。

◇進捗状況 提案者と実施に向け調整中

歴史の
伝承

故郷への
愛着

魅力の
発信



5) イルミネーションによる市役所点灯

◇内 容 市役所をイルミネーションで彩りたい。

◇進捗状況 調整中

魅力の
発信

II 市制施行50周年記念事業実施計画



6) 市制50周年記念テーマソング

- ◇内 容 高浜の全世代の人が市制50周年への方向性を一つにしていく雰囲気となっていくよう記念の歌・テーマソングをつくりたい
- ◇進捗状況 高浜市市民会議50企画事業で同様の事業案が提案されているため、そちらで実施していく。



7) "高浜50年ありがとう これからもよろしく"

イースターパレード ゴミ拾い、シールラリー"

- ◇内 容 高浜市一帯をゴミを拾いを楽しくしながらパレードしたい。
- ◇進捗状況 調整中



8) "第9の演奏を市民合唱を主体で演奏することにより、50周年を祝う"

- ◇内 容 新設される高浜小学校のメインアリーナのホール機能を市民にお披露目するにあたり、なるべくたくさんの市民参加による第9演奏をしたい。
- ◇進捗状況 記念式典等で実施できないか提案者と調整中



9) "世界の人々と手と手をつなぎ、夢を語り合う大家族たかはま"

～オリンピックパラリンピックパブリックビューイングを通して～"

- ◇内 容 2020年のオリンピック・パラリンピック開催に合わせ、柔道の外国チームを受け入れ、一緒にオリンピック・パラリンピックを見て(パブリックビューイング)、夢を語り合いたい。
- ◇進捗状況 提案者と2度調整済み。提案者自身がすでに実施に向けて調整

II 市制施行50周年記念事業実施計画



をしている。引き続き調整中

未来への希望



10) カワラで作ったメダルを親善試合で渡す

- ◇内 容 高浜市らしく 2020 年のスポーツ大会等で瓦で出来たメダルを渡したい。(9 の提案と連動)
- ◇進捗状況 提案者と 2 度調整済み。提案者には瓦で出来たメダル及び瓦で出来たコースター等をサンプルとして提供した。サンプルをもとに提案者自身で市内の瓦事業者と調整され、2019 年度中に一度実施している。引き続き調整中

歴史の伝承 未来への希望 故郷への愛着 魅力の発信



11) スポーツ庁の地域スポーツコミッションに市と一緒に応募する

- ◇内 容 スポーツ庁の地域スポーツコミッションに市と一緒に応募し、ネットワークづくりをしたい (9,10 の提案と連動)
- ◇進捗状況 提案者と調整の結果、実施しないこととなった。



12) 高浜市民・世界記録に挑戦!

- ◇内 容 住民・企業と協力し、世界記録に挑戦したい。
- ◇進捗状況 調整中

故郷への愛着 魅力の発信



13) "天野浩名古屋大学教授 (2014年ノーベル物理学賞受賞) による基調講演

- ◇内 容 2014年ノーベル物理学賞を受賞した天野浩名古屋大学教授により基調講演を実施し、高浜の子どもたちへ将来の夢と希望を語っていただく。

II 市制施行50周年記念事業実施計画



- ◇進捗状況 ホームページや市町名でのお願い文書等を通じて依頼。2019年5月申込み時はダメだったため、2019年8月に再度応募した。
引き続き調整中

未来への希望



14) 市制50年間の写真展開催

- ◇内 容 過去の50年間を知り、これからの50年間を考えるため、後世に残したい写真や市が所蔵するのの写真による写真展を開催したい。
- ◇進捗状況 「4) 高浜市内の移り変わりをわかりやすい形で紹介」と同じアイデアとして調整中

歴史の
伝承

故郷への
愛着

魅力の
発信



15) てとてとてをつなぐ大家族高浜プラン

- ◇内 容 参加者の手形をやきもので作り、いくつか貼り合わせたタワーのようなオブジェをつくりたい
- ◇進捗状況 高浜市市民会議50企画事業「地域・仕事・発見隊！わくわくワーク事業」で少し実現できるよう調整中

故郷への
愛着



16) 張濱（チャンビン）氏（二胡奏者）による記念コンサート

- ◇内 容 国際的二胡奏者である張濱（チャンビン）氏のコンサートを通じて、若い世代に「友好」というメッセージを発信したい
- ◇進捗状況 一度マネージャーの方と打ち合わせを行った。どういった場面でお願いするのか調整中。

未来への希望

II 市制施行50周年記念事業実施計画



17) 多文化共生

- ◇内 容 多言語でのあいさつ運動。多文化に関する勉強会。様々な国のお祭りを集めたイベントを開催したい。
- ◇進捗状況 調整中。高浜市市民会議50企画事業「高浜市のテーマソングを作って、歌って、広めて、エンジョイ事業」とも連携していけると考える。



18) (株) 東ハトが製造している「でっかいキャラメルコーン」と高浜市で生産されたジャンボ落花生をコラボレーション

- ◇内 容 (株) 東ハトが製造している「でっかいキャラメルコーン」と高浜市で生産されたジャンボ落花生をコラボレーションさせたい。
- ◇進捗状況 (株) 東ハトと実現に向けて調整したが、設備の関係で対応が難しいとなったため断念せざるを得なくなった。

3. 記録・PR事業

1) シンボルマークの作成

気運の醸成や発信力を高めるため、シンボルマークの募集を行い、市内の小中学生による投票等によりシンボルマークを決定し、市内の団体や企業に活用いただけるよう啓発活動を行っている。



応募総数104点の作品の中から沖縄県の木村さんの作品が選ばれた。マークに込められた想いは、高浜市が掲げている将来都市像「思いやり支え合い手と手をつなぐ大家族たかはま」を元にデザインし、人々が手をつないで丸くなっている姿は、協力や希望、明るい未来を表現。またカラフルな色づかいによって老若男女すべての人という多様性を表現し、人の形は高浜市の「T」をモチーフにしているとのこと。

II 市制施行50周年記念事業実施計画



2) 市制施行50周年記念映像の作成

市制施行から50年間にわたるまちづくりの歴史、今後のまちづくりの方向性等を発信する記念映像を作成する予定。



3) 市制施行50周年記念誌の作成

市制施行から50年間にわたるまちづくりの歴史等を取りまとめるとともに、協力いただいた企業などこれまでの50年を支えてくれた方を紹介する。



4) シティプロモーション

民間事業者が発行する情報誌等への記事掲載やテレビ番組の誘致など各種メディアに対するPR活動を積極的に行う。



5) 高浜市縁の漫画家との連携

高浜市在住で「たたかえ！お母さん」など多くの人気作を描き、市の取組みにもこれまで数多くご協力いただいている『たかは まこ』さんや高浜市を舞台にした鬼師の物語「さんかく屋根街アパート」の作者『藤末さくら』さんとコラボレーションした市制50周年のPR。



藤末さくらさんのイラスト
(メンバー募集のポスター等で使用しました)

4. その他関連事業

1) 冠事業

市主催や地域団体等が開催する、またはしている既存事業に「市制施行50周年」の冠やシンボルマークを使用いただくことで、市全体で市制施行50周年を記念する機運を醸成する。

II 市制施行50周年記念事業実施計画



2) 寄附金募集

市制施行50周年には、なるべくたくさんの方に関わっていただきたい。そのために、運営スタッフ等として協力することはできないが、寄附という形で協力・支援できる、したいという方に対して参加の一つの形として、広く寄附金を募集する。

寄附をいただいた企業	
株式会社 三洋商店	神谷建設 株式会社
株式会社 ハウスジャパン	株式会社 八大不動産
永田や佛壇店 高浜店	株式会社 フコク
株式会社 デンソープレステック	愛知県陶器瓦工業組合
橋本電機工業 株式会社	有限会社 山本造園
寄附金合計額	3,984,691 円
ふるさと応援寄附金による応援	1,000,000 円

(令和元年12月17日時点)

(物品による寄附)

寄附をいただいた企業	寄附内容
株式会社 武山精密	自社で制作した「めしどりちゃん」のマスコットキャラクター500個 ※2019年の鬼みちまつりでの50周年PRブースにて色塗りワークショップを開催。